

HIV/エイズのステージ - HIV/エイズ 101、パート 6

HIV のステージによって感染者の症状は異なります。HIV には、急性期、臨床的潜伏期、エイズの 3 つのステージがあります。HIV に感染したすべての人がこれらの症状のすべてを経験するわけではありません。

HIV の急性期

このステージは初期ステージとも言われます。人によっては HIV に感染して 2~4 週間以内にインフルエンザに似た症状が表れます。しかし、このステージ中に病気を感しない人もいます。

インフルエンザに似た症状とは：

- 発熱
- 寒気
- 発疹
- 寝汗
- 筋肉の痛み
- 喉の炎症
- 倦怠感
- リンパ節の腫れ
- 口内炎



これらの症状は数日から数週間にわたって表れます。このステージ中は、体内に大量のウィルスがいるにも関わらず、HIV 検査で陽性反応が出ない場合があります。また、こうした症状が現れたからといって、HIV に感染したと考えてはいけません。他の病気が原因の場合もあるからです。

HIV に感染していても、10 年以上症状が現れない場合もあります。急性期は、症状が現れていなくても他者に HIV を感染させる高いリスクがあります。

臨床的潜伏期



HIV 感染の初期ステージの後に、臨床的潜伏期と呼ばれるステージに入ります。別名、慢性 HIV 感染とも言われます。このステージでは、HIV は依然活発な状態ですが、非常にゆっくりと繁殖します。慢性 HIV 感染者には HIV に起因する症状はあまり見られず、現れても軽度の症状のみです。

HIVにおける薬物療法は、抗レトロウイルス療法またはARTと呼ばれます。ARTを受けていない場合、このステージは10年以上続きます。毎日適切にARTを受けている場合、このステージは20年以上続きます。

繰り返しますが、たとえ症状が現れていなくても、感染者はHIVを他者に感染させる可能性があります。しかしながら、ARTを受けていて血液中のウイルス数が少ない人は、ウイルス数が多い人よりHIVを感染させる可能性は低くなります。

エイズ発症まで

HIVに感染しているにもかかわらずARTを受けないでいると、ウイルスはゆっくりと免疫システムの機能を低下させていきます。その後、エイズ、または後天性免疫不全症候群を発症します。エイズはHIV感染における後期ステージです。

症状：

- 急に体重が減少する
- 発熱、または多量の寝汗をかく
- 極度の倦怠感
- リンパ腺の腫れ
- 下痢
- 口内、肛門、生殖器の炎症
- 肺炎
- 記憶力低下、うつ



エイズの重い症状の多くは日和見感染症に起因します。こうした感染症は、免疫力が極度に低下した時に身体を攻撃することから「日和見感染症」またはOIと呼ばれています。

HIV/エイズに関して疑問がある場合は、必ず解決してください。公衆衛生局または医療機関に問い合わせるか、公共図書館にてお調べください。



Text is from HIV/AIDS sources from the Department of Health and Human Services and adapted by HealthReach and Healthy Roads Media. This project has been funded in whole or in part with Federal funds by the National Library of Medicine award number HHSN276201500011I awarded to the Center for Public Service Communications. Images from iStock.com.